

ラウンドアバウトの社会実験の 意向がある地区の概要

社会実験の目的と概要

● 社会実験の目的

- 新たな施策の展開のため、場所や期間を限定して施策を試行・評価すること

● ラウンドアバウト社会実験の評価の視点

- 想定される効果は発揮されそうか
 - 社会実験の内容が、地域の課題を解消するものとなっているか
 - ラウンドアバウトの計画・設計案が、解決したい課題に適したものとなっているか
- 実験にあたっての課題はないか
 - ラウンドアバウトに改良することで、何らかの問題を引き起こすおそれはないか
- 「社会実験による検証を求める事項」の検証が可能か

● 社会実験による検証を求める事項

実験前後での交通動態の比較	<ul style="list-style-type: none">• 自動車の流入速度、通過速度、流出後速度• 自動車の流入遅れ時間(全方向)• 横断歩行者の優先・非優先(車両先行)状況• 交通事故・ヒヤリハット事象の発生状況• 騒音の発生状況
利用者意識	<ul style="list-style-type: none">• 道路利用者や周辺住民からの評価
その他	<ul style="list-style-type: none">• 関係者との合意形成を図る上で課題となった事項• 関係者との協議により調整・判断した内容に関する記録

ラウンドアバウトの社会実験の応募地区の概要

		静岡県焼津市 関方交差点	滋賀県守山市 立田町交差点	(参考:平成24年度社会実験) 長野県軽井沢町 六本辻交差点
交差点の現状		4枝の無信号交差点	4枝の無信号交差点	6枝の無信号交差点
歩道設置状況		無	2枝に片側歩道あり	2枝に両側歩道あり
道路の特性		焼津市街地と近隣市を結ぶ主要な道路	守山市北部から国道477号(浜街道)へのアクセス道路	旧軽井沢(観光中心)と西軽井沢方面を結ぶ幹線道路
周辺地域の特性		市街化調整区域 一般住宅のほか、倉庫や介護施設が点在	市街化調整区域 一般住宅による集落に近接	第1種住居地域 別荘のほか、商業施設、飲食店等が立地
交通事故		5年間で5件 一時停止無視などによる出会い頭事故	5年間で9件 不十分な一時停止による出会い頭事故	1年間で4件 出会い頭2件、追突1件、車両単独1件
主道路の速度	規制	40km/h	規制速度なし(60km/h)	40km/h
	実勢	平均45km/h程度	約55km/h	平均42km/h程度
ピーク時交通量		(自動車・二輪車)425台/h うち大型車:12台 (自転車)7台/h (歩行者)0人/h	(自動車・二輪車)678台/h うち大型車:8台 (自転車)14台/h (歩行者)0人/h	—
実験での計画		1車線ラウンドアバウト(外径27m)	1車線ラウンドアバウト(外径26m)	1車線ラウンドアバウト(外径27m)

静岡県焼津市 関方交差点 (位置と概要)

せきがた



焼津市の概要

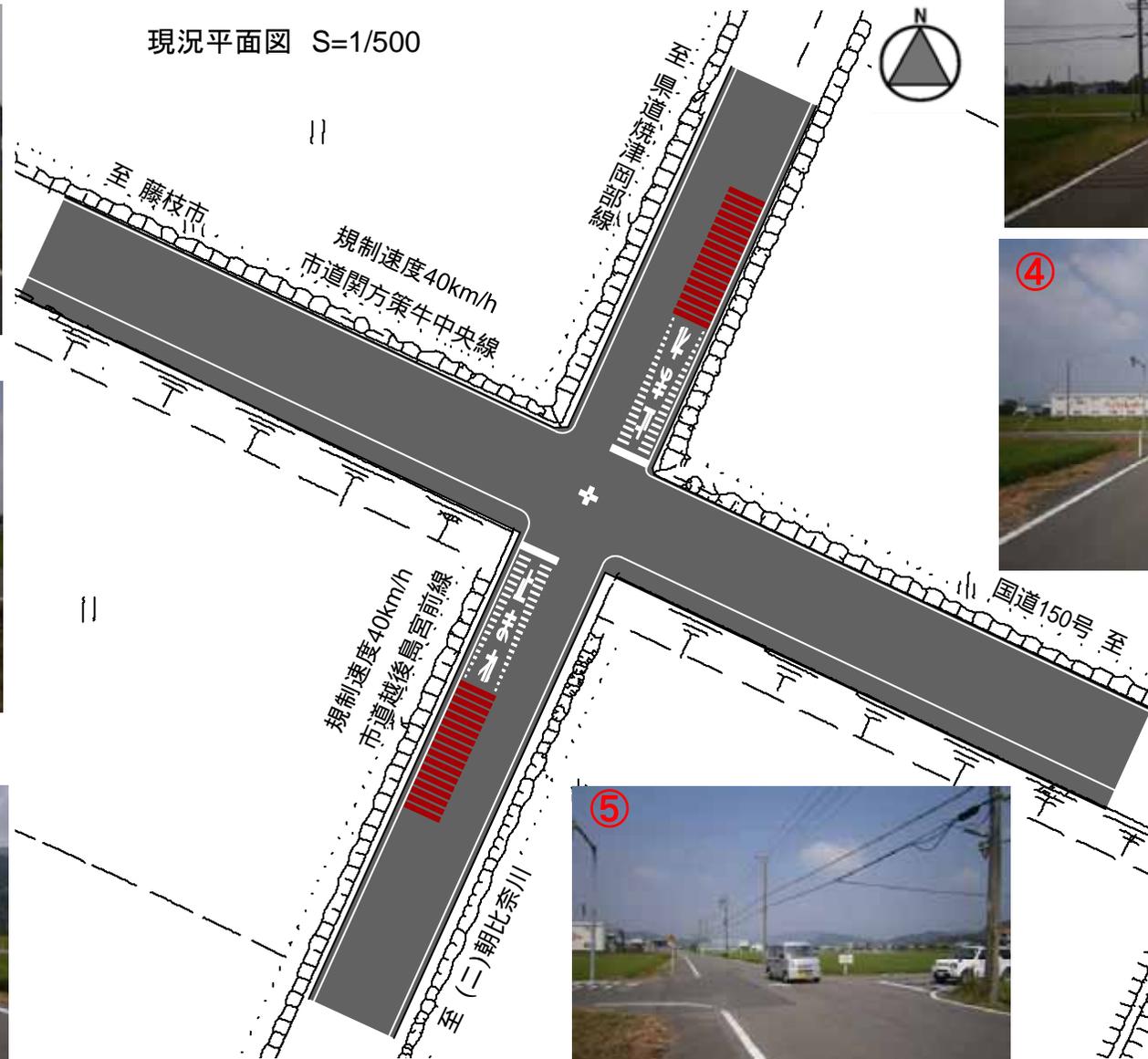
面積: 70.62km²

人口: 144,348人(平成25年7月1日現在)

自動車交通量: 425台/h(朝ピーク時)
 通学路の指定: 無 バス路線: 無 事故件数 5件/(H20年度~H24年度)
 交差点への進入速度 平均45km/h程度
 市街地に隣接した水田が広がる市街化調整区域で、一般住宅のほかに、大規模倉庫や介護施設等が点在している地域。
 焼津市街地と近隣市を結ぶ主要な道路で通勤時間帯を中心に交通量が多い。



静岡県焼津市 関方交差点 (現地状況)

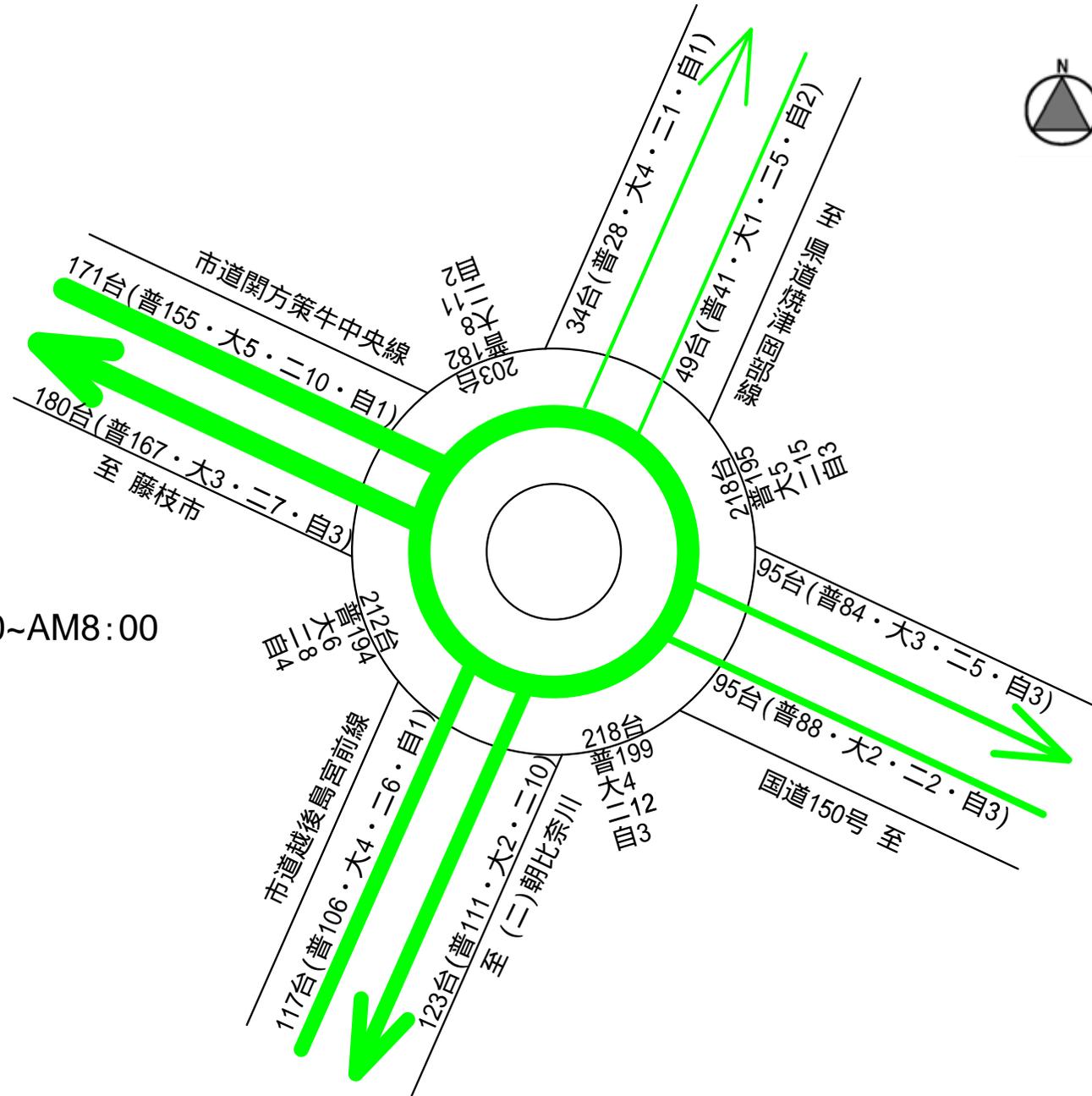
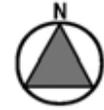


静岡県焼津市 せきがた 関方交差点 (交通状況)



平成25年8月21日(水)撮影

静岡県焼津市 関方交差点 (交通状況)



平成25年8月21日(水) AM7:00~AM8:00
 天気 晴れ

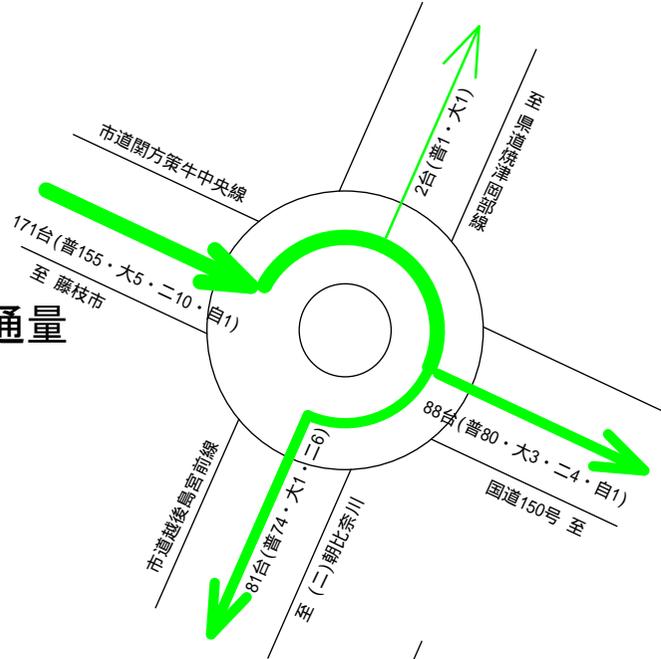
ピーク時交通量

- 普通車 390台
- 大型車 12台
- 二輪車 23台
- 自転車 7台
- 歩行者 0人

静岡県焼津市 関方交差点 (交通状況)

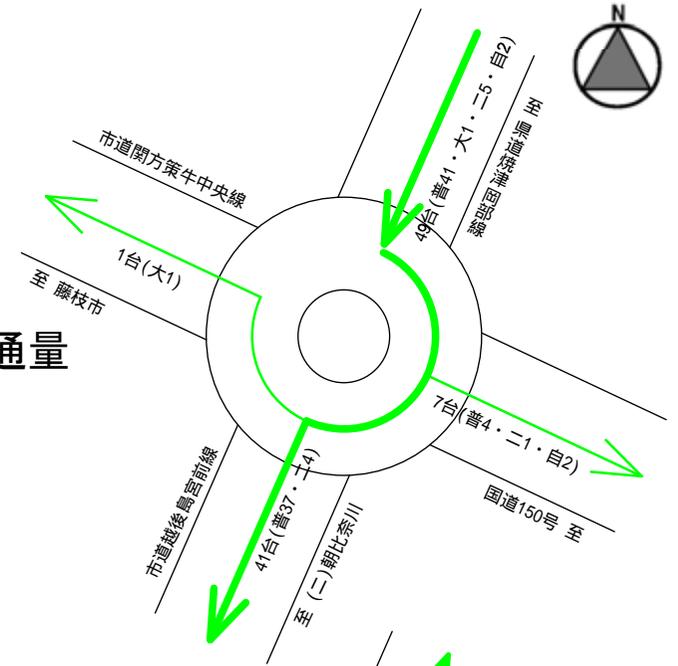
①方向からの交通量

普通車 155台
 大型車 5台
 二輪車 10台
 自転車 1台
 歩行者 0人



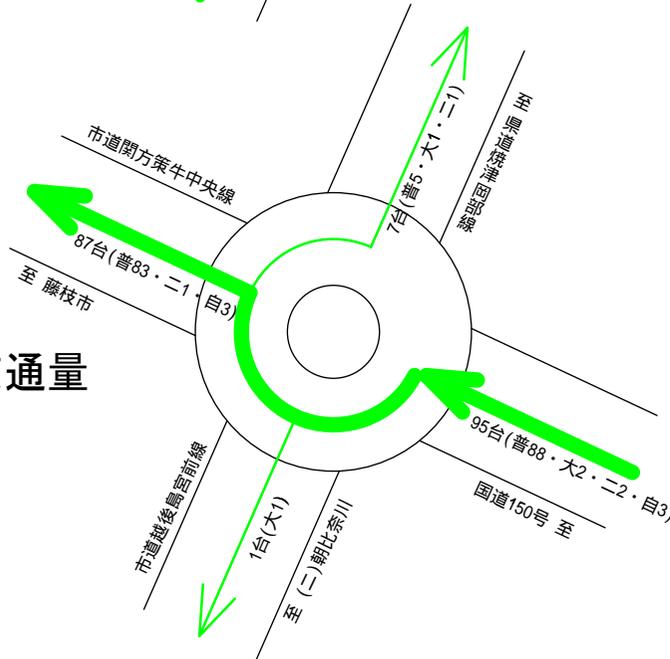
②方向からの交通量

普通車 41台
 大型車 1台
 二輪車 5台
 自転車 2台
 歩行者 0人



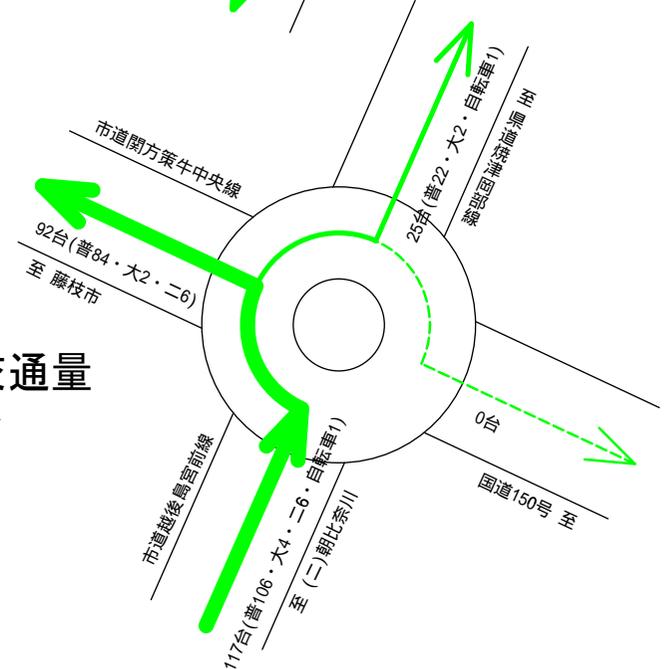
③方向からの交通量

普通車 88台
 大型車 2台
 二輪車 2台
 自転車 3台
 歩行者 0人



④方向からの交通量

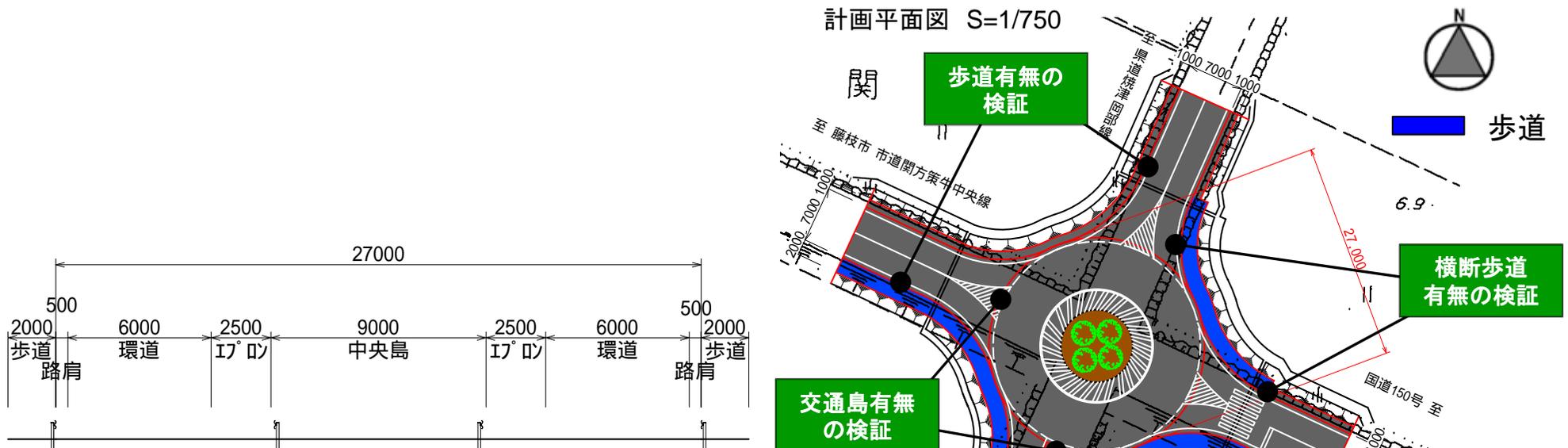
普通車 106台
 大型車 4台
 二輪車 6台
 自転車 1台
 歩行者 0人



静岡県焼津市 関方交差点 (実験計画)

● 計画案

- 交差する市道の現況車道幅員が概ね同幅員であるため、道路の主従関係が不明瞭であることから一時停止無視などによる交差点の出合い頭事故等が発生している。ラウンドアバウトの導入により、交差点流入時の速度抑制を図ることによる事故の抑止に期待



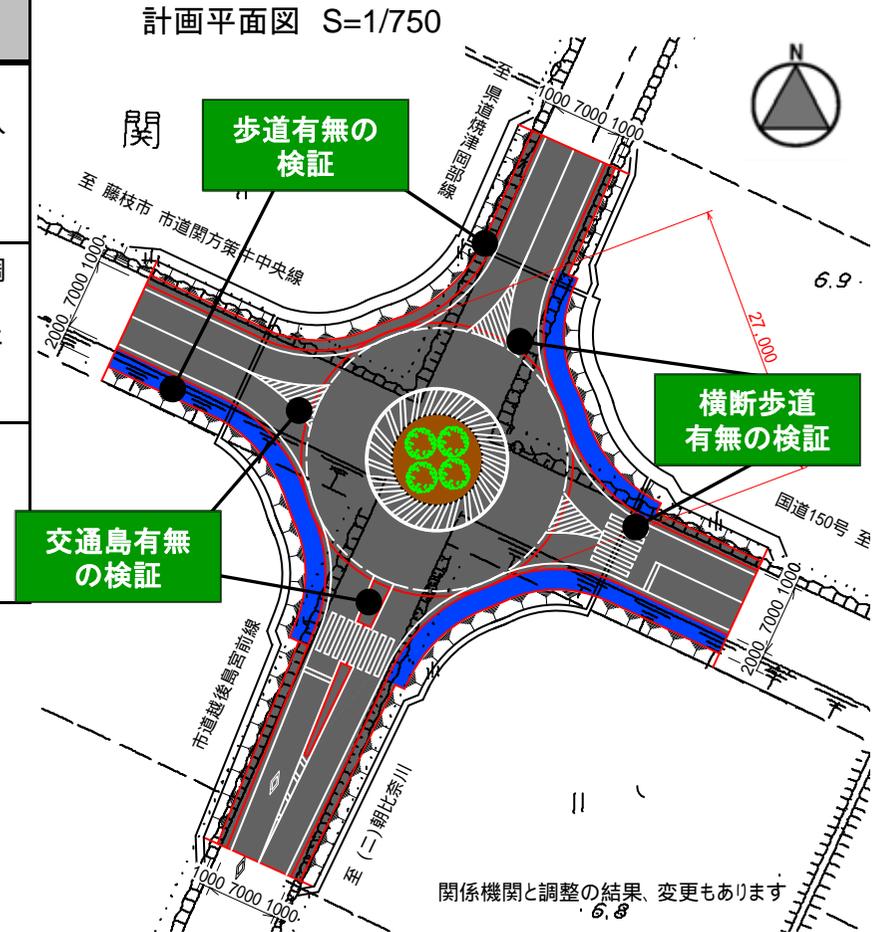
● 実験で検証する項目

- 周知方法の効果測定
- 交通島の必要性、交差道路の歩道及び横断歩道の有無の検証及び交差道路における安全対策について検証
- 交差点流入・通過速度、走行軌跡を調査(ビデオ観測)、利用者・周辺住民アンケート
- (警察の許可が得られれば)標識の設置方法

6.8 関係機関と調整の結果、変更もあります

静岡県焼津市 関方交差点 (実験計画)

実験の検証項目	検証事項	手法	確認する挙動等
1. 分離島の必要性の検証	<ul style="list-style-type: none"> 逆走防止効果 減速（流入手前）効果 	<ul style="list-style-type: none"> 交差道路に分離島を設置する箇所としない箇所を設ける。 ビデオ調査、アンケート調査 	<ul style="list-style-type: none"> 逆走をチェック 分離島手前での流入速度を調査
2. 横断歩道の必要性の検証	<ul style="list-style-type: none"> 一旦停止遵守率 環道内の滞留影響 	<ul style="list-style-type: none"> 交差道路に横断歩道を設置する箇所としない箇所を設ける。 ビデオ調査、アンケート調査 	<ul style="list-style-type: none"> 一旦停止遵守率を調査 環道内の滞留をチェック 歩行者の安全行動
3. 歩道の必要性の検証	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の有無により安全上課題等発生しないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 交差道路に歩道を設置する箇所としない箇所を設ける。 ビデオ調査、アンケート調査 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者の安全行動



分離島あり
(飯田市の例)



分離島なし
(飯田市の例)

横断歩道なし
(飯田市例を編集)



● 安全対策

■ 実験前・切り替え時の安全対策(交通ルールの周知)

【実験前】

- ・チラシ、ホームページ、広報紙等によるラウンドアバウトの交通ルールに関する広報活動
- ・交差点手前にラウンドアバウトの通行方法を示した社会実験案内看板を設置
- ・社会実験概要とともに交通ルールの周知を含めた地元説明会の開催

【切り替え時】

- ・現地での警察による交通指導の実施(ラウンドアバウトの交通運用時)

■ 実験中の安全対策

① 流入部の速度抑制対策

注意喚起対策: 止まれ強調標示、減速マーク、規制標識(法定内)

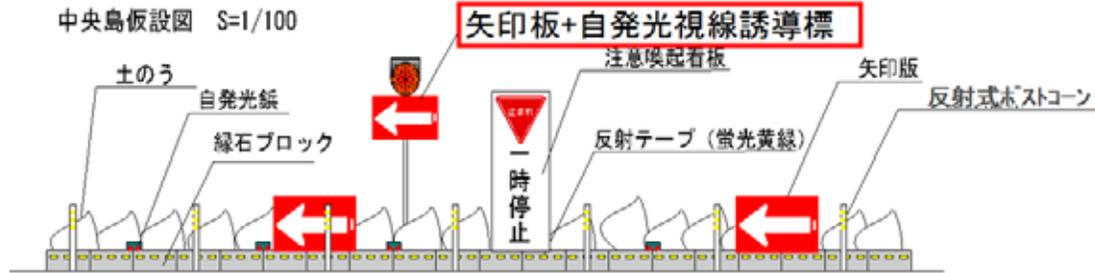
社会実験案内看板

② 中央島(仮設施設): 自発光鋏、反射テープ(蛍光黄色)、注意喚起看板(一時停止)環道優先看板等

③ その他: 道路照明灯の新設

静岡県焼津市 関方交差点 (安全対策)

中央島仮設標識



中央島イメージ



止まれ強調標示(事例)

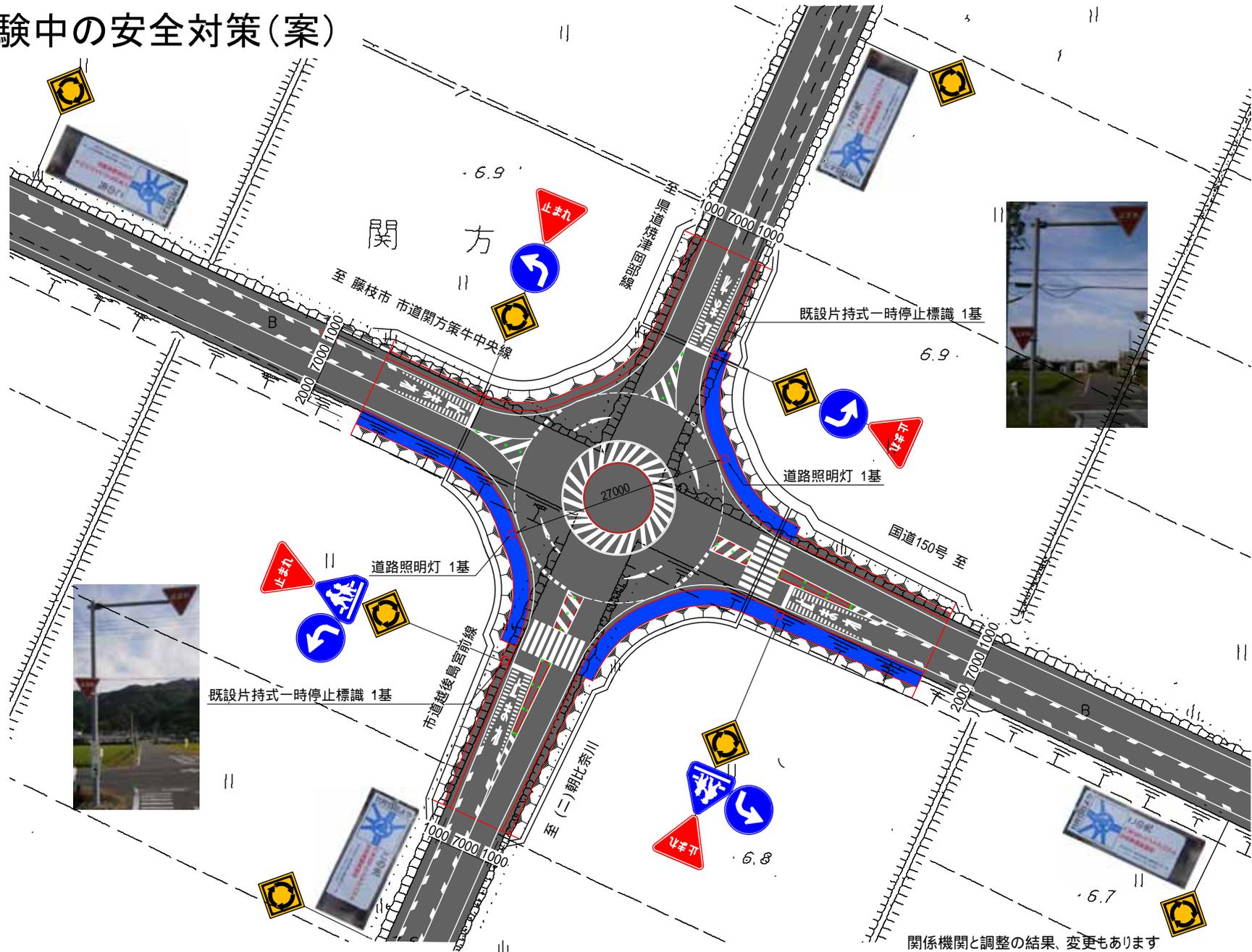


規制標識・指示標識・案内標識設置(事例)



静岡県焼津市 関方交差点 (安全対策)

● 実験中の安全対策(案)

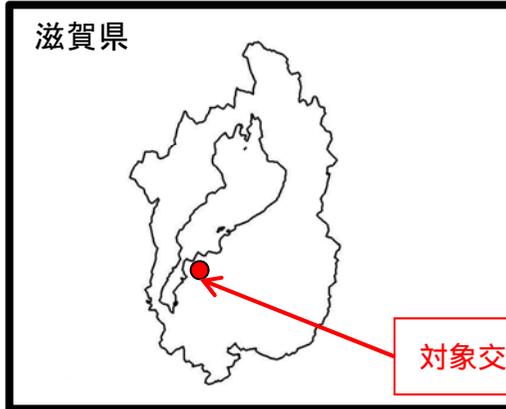


関係機関と調整の結果、変更もあります

滋賀県守山市 立田町交差点 (位置と概要)

自動車交通量 678台/時(朝ピーク時)
 通学路の指定:無 バス路線:無 大型車交通量:寡(朝ピーク時) トレーラー進入:無
 交通事故:9件/5年(出合頭9件(内2件は重傷者あり))

集落が点在する市街化調整区域で、周辺には畑地や田園が広がっている。昼間の交通量は少ないものの、朝夕の幹線道路が渋滞する時間帯に抜け道として車両が通過する。



対象交差点



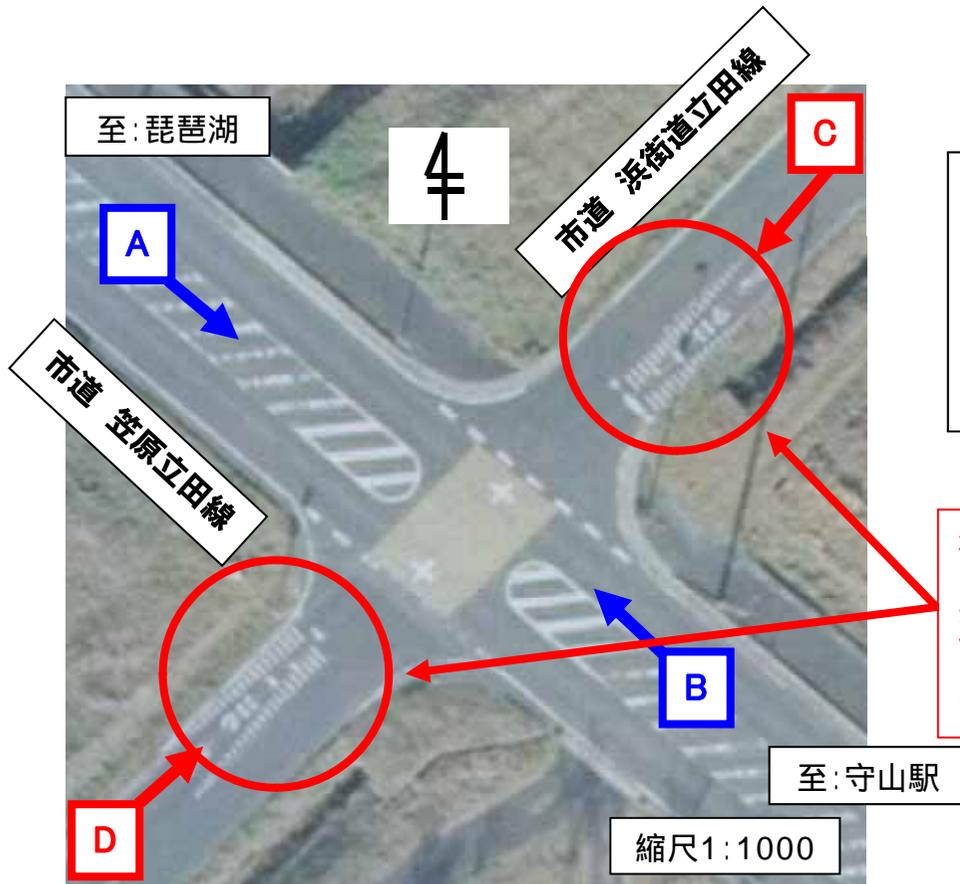
対象交差点



対象交差点

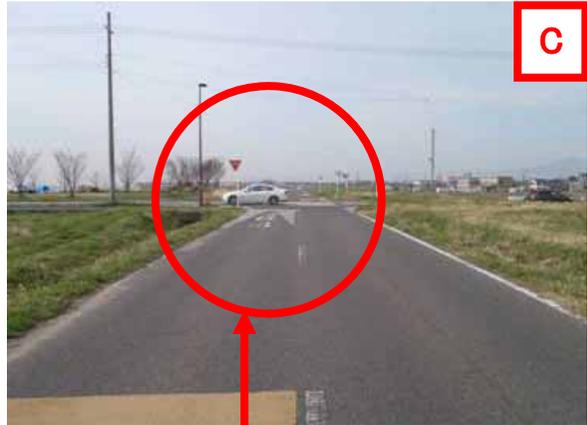
守山市の概要(平成25年7月31日)
 人口:7万9726人
 面積:55.73Km²

滋賀県守山市 立田町交差点 (現地状況)



市道笠原立田線と市道浜街道立田線の無信号交差点

従道路側(C、D)から交差点進入時は、一時停止

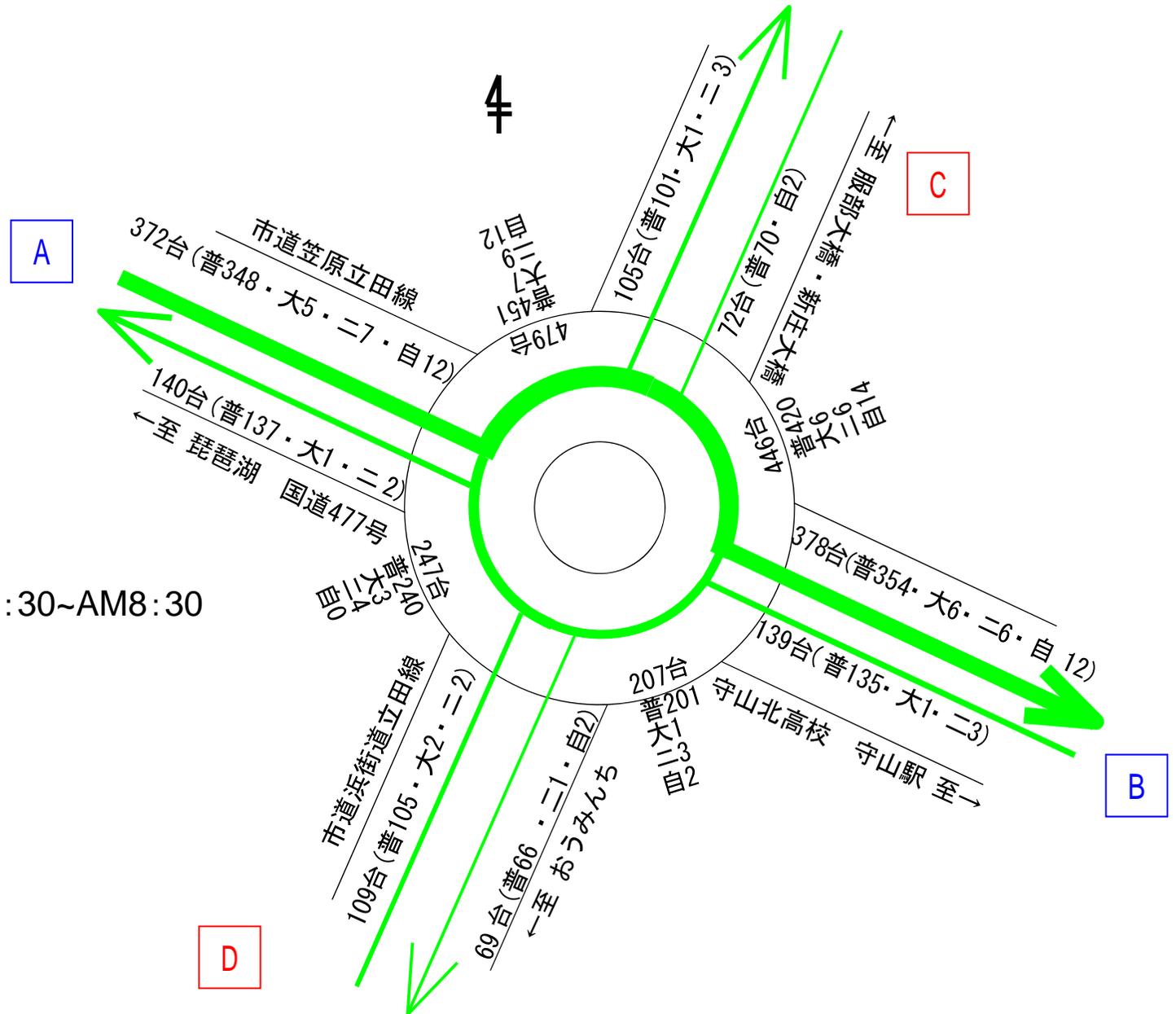


従道路側(C、D)から交差点に進入する際の不十分な一時停止により、出会頭の事故が過去5年に9件発生



滋賀県守山市 立田町交差点 (交通状況)

たつ た ちょう



平成25年8月29日(木) AM7:30~AM8:30
 天気 晴れ

ピーク時交通量

普通車	658台
大型車	8台
二輪車	12台
自転車	14台
歩行者	0人

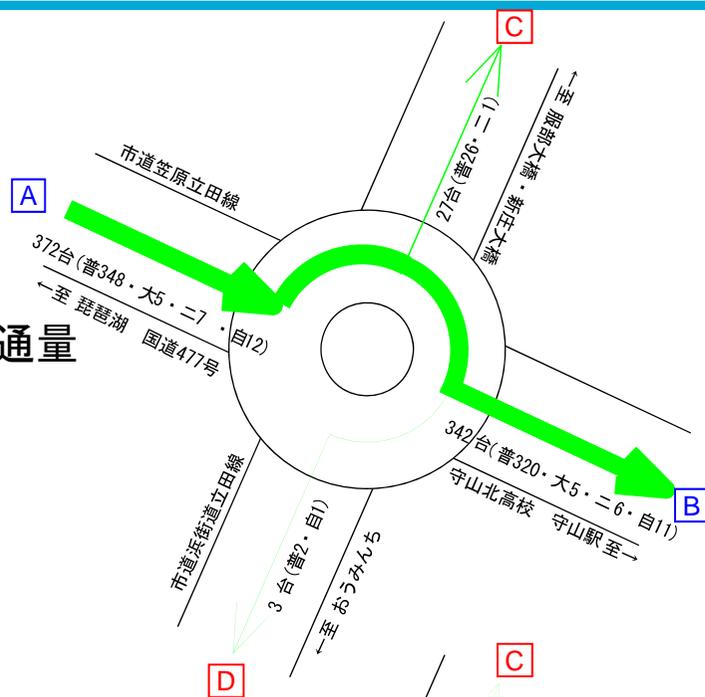
滋賀県守山市 立田町交差点 (交通状況)

たつ た ちょう

4

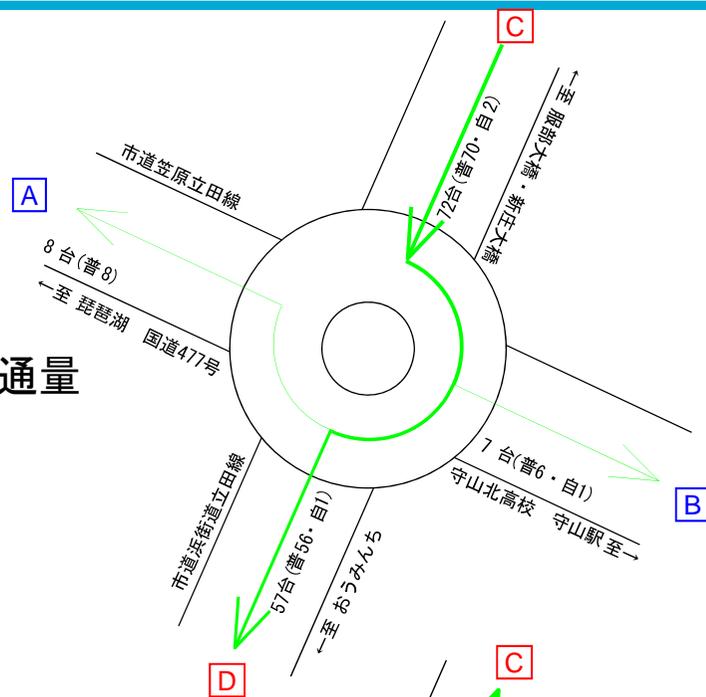
A方向からの交通量

普通車 348台
 大型車 5台
 二輪車 7台
 自転車 12台
 歩行者 0人



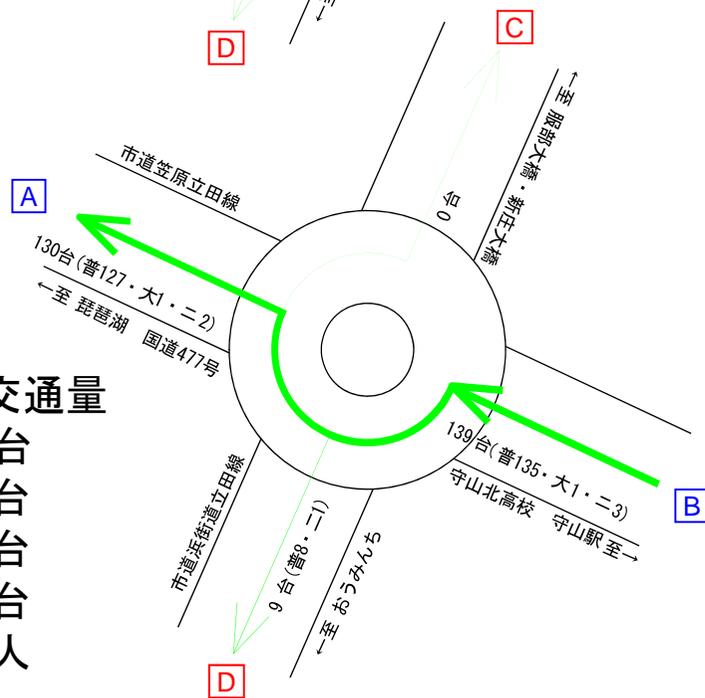
C方向からの交通量

普通車 70台
 大型車 0台
 二輪車 0台
 自転車 2台
 歩行者 0人



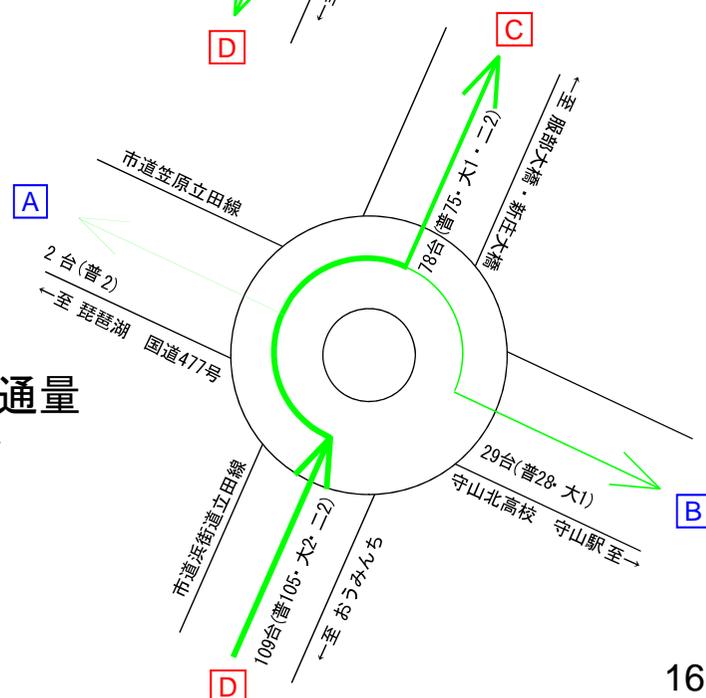
B方向からの交通量

普通車 135台
 大型車 1台
 二輪車 3台
 自転車 0台
 歩行者 0人



D方向からの交通量

普通車 105台
 大型車 2台
 二輪車 2台
 自転車 0台
 歩行者 0人

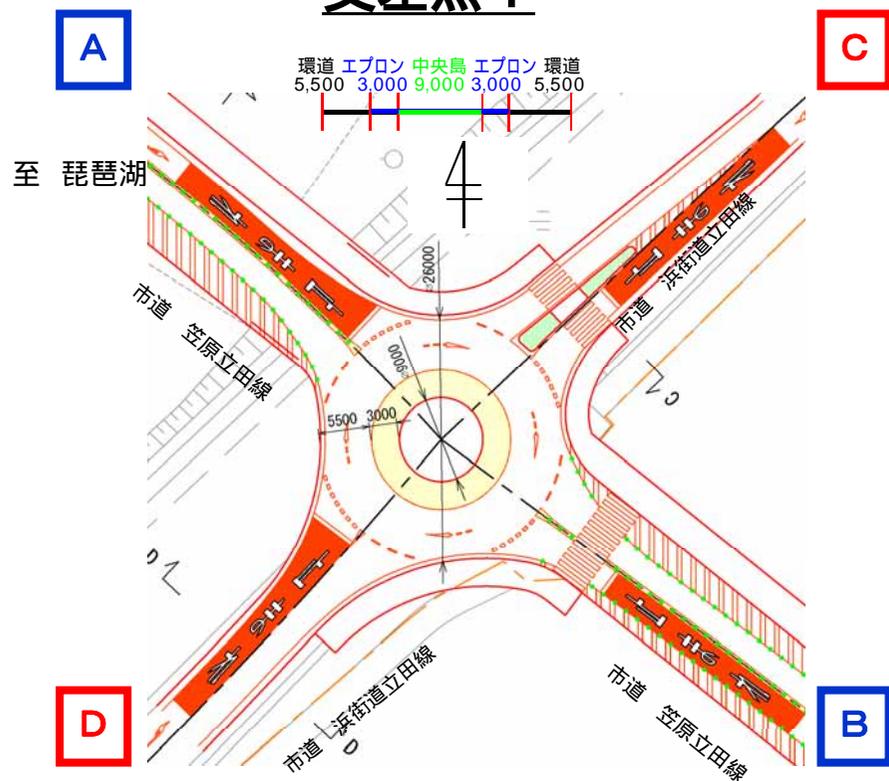


滋賀県守山市 立田町交差点 (実験計画)

● 計画案

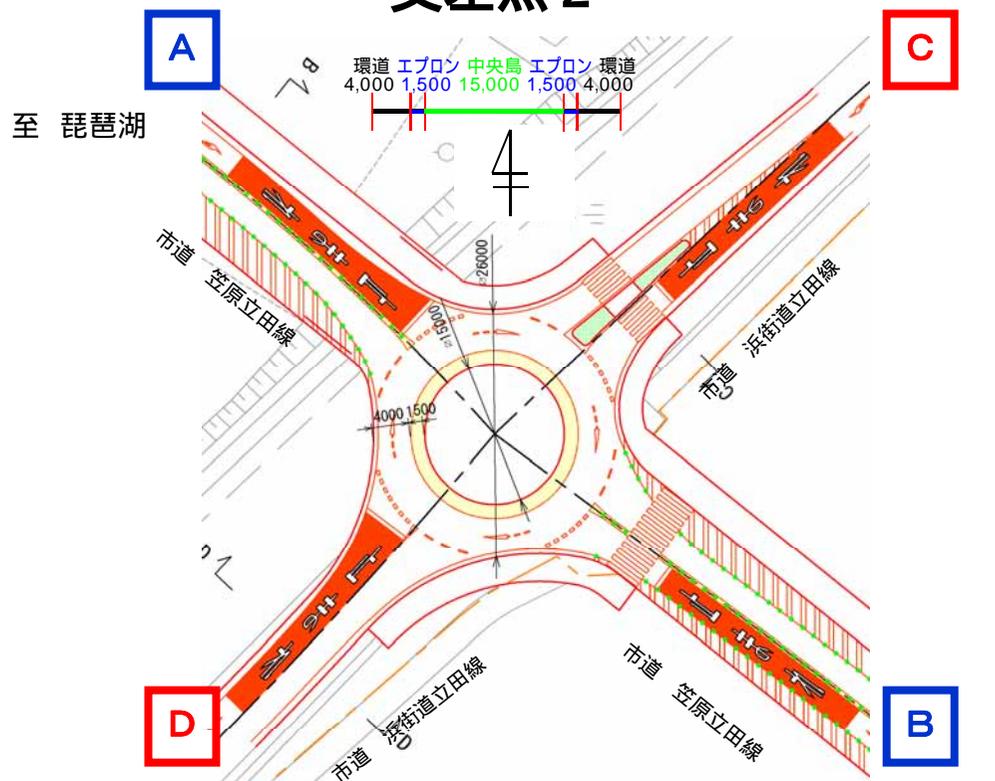
- ・無信号交差点での不十分な安全確認行動に起因した出会頭事故(人身)の多発
- ・ラウンドアバウトによる従道路側の確実な一旦停止によりその危険性を軽減し、安全性の向上を期待

交差点1



関係機関と調整の結果、変更もあります

交差点2



関係機関と調整の結果、変更もあります

至 琵琶湖

至 守山駅

● 実験で検証する項目

- ・環道・エプロン幅員、中央島直径を変えた交差点1, 2の2パターンでの実験実施
- ・交通挙動調査(ビデオ撮影調査、走行調査)、アンケート調査より、
 - ①幾何構造と走行特性、②利用者の受容性(安全性の向上効果)を検証。

■実験前・切り替え時の安全対策(交通ルールの周知)

- ・パンフレット、HP、広報等によるラウンドアバウトの交通ルールに関する広報活動【実験前】
- ・交差点手前にラウンドアバウトの通行方法を示した社会実験案内看板を設置【実験前】
- ・社会実験概要とともに交通ルールの周知も含めた地元説明会の開催【実験前】
- ・現地での警察による交通指導の実施(ラウンドアバウトの交通運用になる時)【切り替え時】

■実験中の安全対策

①流入部の速度抑制対策

- ・構造上の対策:主道路流入部の狭窄構造(車線幅員の縮小、反射式ポストコーン設置)
- ・注意喚起対策:カラー舗装、規制標識(法定内)、社会実験案内板

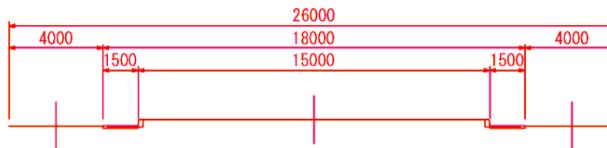
②中央島(仮設施設):自発光鋏、反射テープ(蛍光黄色)、注意喚起看板(一時停止)、環道優先看板等

③その他:・道路照明(仮設)の増設

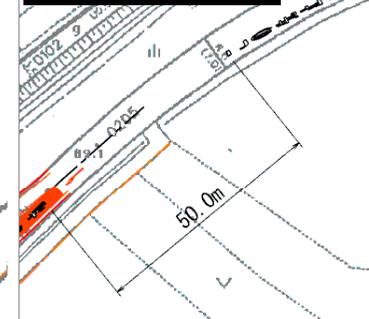
滋賀県守山市 立田町交差点 (安全対策)

たつ た ちょう

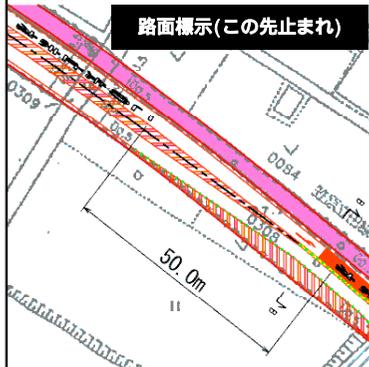
交通安全対策(速度抑制、注意喚起)



路面標示(この先止まれ)



路面標示(この先止まれ)



至 国道477号

A

C

至 服部大橋・新庄大橋

4

凡 例

規制標識	●
照明	●
木*ストコーン	●



路面標示(この先止まれ)のイメージ

仮設照明

既設照明

D

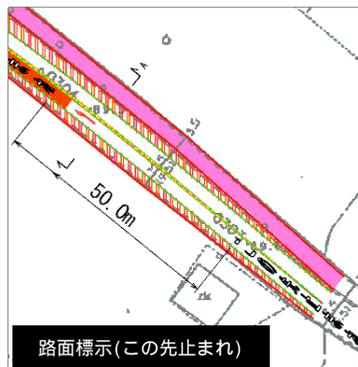
B

至 守山北高校

至 おうみんち

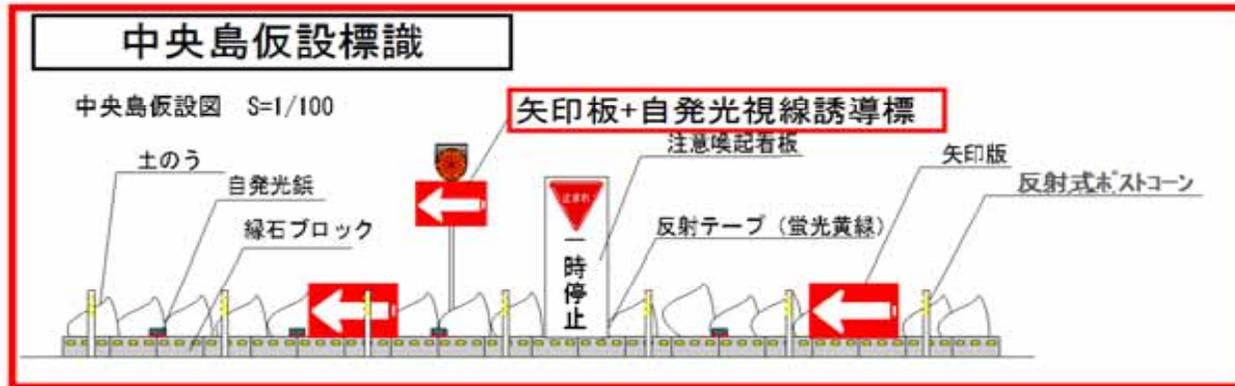
関係機関と調整の結果、変更もあります

路面標示(この先止まれ)



滋賀県守山市 立田町交差点 (安全対策)

たつ た ちょう



交差点手前規制・案内標識(事例)



規制標識



社会実験案内標識 (手前 100m)